

「合併」、隣町から好かれる町づくりができなかった責任を痛感



浜田 等議員

浜田 等議員 私は十二年十二月議会から、本定例議会までの九回の議会を通して、広域合併問題で「市制施行」を目指して質問してきた。この間、執行部・議会ともに目標に向かって努力してきたにもかかわらず、萩答院町は「川西薩地区任意合併協議会」への参加を決定し、現状においては、四町合併併合が不可能。隣町から好かれる町づくりができなかった政治的な責任を痛感する一人であるが、町長の所見を伺う。

あくまで「四町合併」市制施行を目指す

北村町長 現状では、萩答院町長・議会も「川西薩」の方に向いているが、住民運動も起きている。何としても四町合併を実現し、市制施行の実現を目指して努力する。

特別職報酬等の

減額を

浜田議員 私は、平成十四年度の当初予算審議の時点から、特別職(町長・三役及び議会議員)の報酬等の減額措置を講ずるべきだと主張してきた。大変厳しい財政状況のなか、思い切った報酬の減額措置を行うべきと考えるが。



薩摩・鶴田・宮之城の3町議員での4町合併についての意見交換会(12/25)

町長 人事院勧告が、定期昇給分を除いて二・〇三割の引き下げとなり、本町職員も、同様の減額措置を講ずることになる。特別職についても、平成十五年一月から二・一割減額するようにしたい。また、これ以外の月額報酬についても、平成十五年四月から減額する考えである。

にぎわいの北薩広域公園に

浜田議員 県立北薩広域公園が、本年四月に一部開園したが、入園者から何か物足りなさを感じる

という意見を多く聞く。県は、今後の整備は財政状況等から当初計画を大幅に見直し、入園者等のアンケート調査や地元の見解を、整備計画に反映したいとのことである。当北薩地域に開園した唯一の県立公園が、にぎわいの公園に発展するため、本町としては県にどのようなことを提案し、対策を講じる考えか。

町長 県は、入園者のアンケート調査、地元町の意見等を聞き、平成十五年度中に変更計画を決定し、平成十六年度から着工する計画のようである。従って、当初計画されている「テーマゾーン」・「歴史ゾーン」の整備が実現し、公園の機能が十分に果たされるよう要望をしていきたい。